



感染症週報



小笠原での流行状況

第22週（5月25日から5月31日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 手足口病の報告がありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第21週（5月18日～5月24日）

【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

基幹定点医療機関当たり報告数では、無菌性髄膜炎が増加しています。

※基幹定点医療機関とは…

入院できる規模の大きめの病院が担当する「感染症の観測ポイント」です。

【無菌性髄膜炎】

細菌以外の原因で起こる髄膜炎（脳やせき髄を包む膜が炎症を起こす病気）です。子どもに多く、多くは細菌性より軽いことが多いですが、区別するための受診・検査が重要です。



発熱

頭痛

嘔吐

首のこわばり（項部硬直）

6月は東京都HIV検査・相談月間です。

国内で初めてのエイズ患者が確認されてから40年になります。HIV感染はこの期間で「不治の病」から「コントロールできる病気」へと大きく転換しました。現状でも体の中のHIVウイルスを消滅させる治療法はありませんが、治療を早期に始めることでエイズの発症を防ぎ、感染していない人と同じように長く健康的な社会生活を送ることが可能になっています。

ねえ、知ってる？ HIVのこと

医師・無料で検査が受けられること

U=U
治療すればうつらないこと

HIVは日常生活ではうつらないこと

コンドームの使用でHIVの感染を防げること

※U=Uとは HIV感染の検出限界未満（Undetectable）+ 治療（U=U）が継続すれば、性行為しても感染しないことが証明されています。

東京都HIV検査・相談月間

2026年6月1日 ▶ 6月30日

詳細は「東京都HIV検査情報Web」を検索
東京都 エイズ

東京都HIV検査情報Web

<https://tokyo-kensa.metro.tokyo.lg.jp/>

ご相談は保健所保健師までご連絡ください。

☎2-2951

感染症メモ

HIVの今の治療法ってどういうものがあるの？

- ・ART（抗レトロウイルス療法）：複数の薬を組み合わせることでウイルスの増殖を強力に抑え込みます。現在は、1日1回1錠の配合剤が主流となっており、服薬の負担が大幅に軽減されています。
- ・持続性注射薬（ロングアクティング注射）：毎日内服する代わりに、医療機関で定期的に注射（月1回または2か月に1回）を行う新しい治療選択肢です。内服忘れの防止に役立ちます。

薬を正しく飲み続けることで、血液中のウイルス量を測定限界以下に抑えることができ、その状態であればパートナーに感染することはないと科学的に実証されています。



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所